

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成24年1月19日(2012.1.19)

【公表番号】特表2011-511563(P2011-511563A)

【公表日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-545040(P2010-545040)

【国際特許分類】

H 03 H 7/42 (2006.01)

H 01 P 5/10 (2006.01)

H 04 B 1/04 (2006.01)

【F I】

H 03 H	7/42	
H 01 P	5/10	A
H 04 B	1/04	A

【手続補正書】

【提出日】平成23年11月24日(2011.11.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

電子組立品であって、  
基板と、

前記基板上に形成され、第1の巻線と第2の巻線とを含むバラン変換器であって、各巻線は別個の第1および第2の端部を有する、前記バラン変換器と、

前記基板上に形成され、前記第2の巻線の第1および第2の端部間に電気的に結合される反応回路部品と

を備え、

前記バラン変換器および前記反応回路部品は共同して、基本周波数を有する高調波の抑制されたバラン変換器を構成し、

前記反応回路部品は、前記高調波の抑制されたバラン変換器が前記基本周波数の選択された高調波において共鳴するように調整されており、

前記選択された高調波の周波数は前記基本周波数の第2高調波であり、

前記反応回路部品はキャパシタを含み、

前記反応回路部品は前記第2の巻線の中間点に電気的に結合されている、電子組立品。

【請求項2】

前記バラン変換器の第1の巻線の第1の端部に電気的に結合されるアンテナをさらに備える、請求項1に記載の電子組立品。

【請求項3】

前記バラン変換器の第1の巻線の第2の端部に電気的に結合される接地端子をさらに備える、請求項2に記載の電子組立品。

【請求項4】

前記バラン変換器の第2の巻線は中央タップを含み、前記反応回路部品は前記中央タップを通して前記第2の巻線に電気的に結合されている、請求項3に記載の電子組立品。

【請求項5】

電子組立品であって、  
基板と、

前記基板上に形成され、第1の巻線と第2の巻線とを含むバラン変換器であって、前記第1および第2の巻線はそれぞれ別個の第1および第2の端部を有する、前記バラン変換器と、

前記基板上に形成され、前記バラン変換器の第1の巻線の第1の端部に電気的に結合されるアンテナと、

前記基板上の接地端子であって、前記バラン変換器の第1の巻線の第2の端部に電気的に結合される前記接地端子と、

前記バラン変換器の第1の巻線の第1の端部に電気的に結合される増幅器と、

前記基板上に形成され、前記第2の巻線の第1および第2の端部間に電気的に結合される反応回路部品と

を備え、

前記バラン変換器および前記反応回路部品は共同して、基本周波数を有する高調波の抑制されたバラン変換器を構成し、前記反応回路部品は、前記高調波の抑制されたバラン変換器が前記基本周波数の選択された高調波において共鳴するように調整されている、電子組立品。

#### 【請求項 6】

電子組立品を形成するための方法であって、

基板上に第1の巻線を形成することであって、前記第1の巻線は第1および第2の端部を有する、前記第1の巻線を形成すること、

前記基板上に第2の巻線を形成することであって、前記第2の巻線は第1および第2の端部を有し、前記第1および第2の巻線は共同してバラン変換器を構成する、前記第2の巻線を形成すること、

前記基板上に反応回路部品を形成することであって、前記反応回路部品は前記第2の巻線の第1および第2の端部間に電気的に結合される、前記反応回路部品を形成すること、

前記バラン変換器および前記反応回路部品が共同して、基本周波数を有する高調波の抑制されたバラン変換器であって、前記周波数の選択された高調波において共鳴するバラン変換器を構成するように、前記反応回路部品を調整すること、

前記基板上にアンテナを形成することであって、前記アンテナは前記第1の巻線の第1の端部に電気的に結合されている、前記アンテナを形成すること

を含み、前記反応回路部品はキャパシタを含み、前記選択された高調波の周波数は前記基本周波数の第2高調波である、方法。